

平成30年度 政務活動費支出明細書

会派又は議員名 山本洋輔

科 目	支出日	内 容	金 額
調査研究費	2018年8月14日	新城市視察 資料代	3,000
	2018年8月24日	全国政策研究集会2018in沼津 (自治体議員政策情報センター)	10,000
	2018年8月24日	上記研修会 宿泊費 ココチホテル沼津 *クレジット支払いのため、ポイント付与分を加味する。1000円につき1ポイント付与されており、1ポイント3円分と考慮し0.997をかけて割引する。更に宿泊サイトのポイントが155ポイントが付与され、1ポイント1円の換算が可能のため、155円を割り引く。また、計算は小数点以下切り捨てとする。 $8,400 \times 0.997 - 155 \leq$	8,219
	2019年3月31日	学習会:砂川事件の現場で語られる真実 資料費	500
合 計			21,719

活動記録簿

会派・議員名 山本洋輔

年 月 日	2018年 8月 14日				
場 所	新城市 (まちなみ情報センター：愛知県新城市町並304-4)				
相 手 方	新城市				
参加者氏名	山本洋輔				
目的・内容 結果 等	新城市で実施されている若者議会を視察することによって、本市における若者政策を検討するに当たっての参考とする。非常に先進的な取り組みであり、全国的にも注目を浴びている若者議会であり、是非本市においても導入したいとの思いを新たにしたが、スタートアップに際しての検討課題等あることも明らかとなった。				
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	○調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費			
		行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
	交	新城市	鉄道(新幹線)	立川-大宮-新 横浜-新城市 (往復)	19,380円
	通				円
	費				円
					円
		参加費 (会費・負担金等)	内訳：資料代		3,000円
		そ の 他	内訳：		円
		内訳：		円	
		内訳：		円	
	合 計			22380円 3,000 25380	

領 収 書

立川市議会 山本洋輔 / 様

領収書No. 1006

下記、正に領収いたしました。

発行日 2018年8月14日 火曜日

件名： 8月10日 若者総合政策について

若者議会連盟

〒441-1412

愛知県新城市作手町谷本門前11

代表理事 鈴木孝浩

TEL : 080-5810-9083

E-Mail : viatortaka@gmail.com

担当者：鈴木孝浩

合計金額 ¥3000- (税込)

印 収
紙 入

No.	摘要	数量	単価	金額
1	説明用資料	1 式	3,000	¥3,000
小計				¥3,000
消費税				¥0
合計				¥3,000

備考	
----	--

公印	係	係長	文書主任/次長	局長	副局長	課長
岡寛・決裁用(上)丙丁			発行・保管・永年・10年(3)3年1年			

様式3

2018年8月26日

立川市議会議員 殿

会派名及び
 代表者氏名
 又は議員氏名
 出張者氏名 山本洋輔 印

出張報告書

出張調査・研修を行いましたので、次のとおり報告します。

出張者氏名	山本洋輔
出張期間	18・8・24(金)～8・25(土)まで1泊2日
出張先及び調査・研修項目	1 全国政策研究集会 2018in 沼津(自治体議員政策情報センター虹とみどり主催) 2 特別講演：静岡県から地方自治を考える(静岡県知事：川勝平太氏) 3 基調講演：日本一わかりやすい憲法のはなし(大阪国際大学准教授谷口真由美氏) 4 分科会：「個として繁がり合い、支え合っていける社会づくり」若者・困窮者支援 分科会：憲法・地方自治・議員のめざす姿

1 経路

2 調査旅費

狭道賃等	運賃	5,180円	(5,180円)
	特急料金	4,900円	(4,900円)
	地下鉄等	円	()
	航空賃	円	()
	バス	円	()
	タクシー	円	()
	旅行雑費	円	()
	宿泊料 (8,400/1泊)	8,400円	(8,400円)
	その他	円	()

3 研究研修費

10,000円

4 資料購入費

円

合計

28,580円

5 概要

全国政策研究集会(自治体議員政策情報センター虹とみどり主催)。基調講演、特別講演においては、静岡県知事による地方自治の在り方、大阪国際大学准教授による憲法の視点に根ざした地方自治の講演が行われ、日本や都道府県といったマクロ視点での地方自治の在り方について考える機会となった。また関心テーマ毎に分かれて行う分科会では、1点目として若者・困窮者支援に関する分科会を選び、静岡市子ども未来局未来課長の現場の話を聞くことができ、先進事例として大いに参考になった。また2点目の「憲法・地方自治・議員のめざす姿」では元我孫子市長のボトムアップの政治の在り方について議員の目指すべき姿を考える上で非常に参考になった。



政務活動費領収書等貼付用紙

246292

領収書
RECEIPT

発行日
ISSUED 2018/08/24 21:15:00

お名前
NAME 山本 洋輔 様

cocochee hotel
ココチホテル沼津

領収金額
RECEIVED THE SUM OF ¥8,400

印
紙

〒410-0056 静岡県沼津市高島町1-12
TEL. 055-924-1100 FAX.055-925-2581

(上記金額には消費税が含まれております。)

http://cocochee.jp/

お名前
NAME 山本 洋輔 様

部屋番号 ROOM NO.	到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	発行日 ISSUED	宿泊人数 PERSONS
1002	18/08/24	18/08/25	18/08/24	1

日付 DATE	摘要 DESCRIPTION	単価 PRICE	数量 Q' TY	金額 AMOUNT	お支払い PAID	消・奉 TAX SV	備考 REMARKS
18/08/24	ルームチャージ	8,400	1	8,400		*	

会社名
COMPANY

ご利用金額
AMOUNT TOTAL

ご入金額
PAID TOTAL

ご請求金額
BALANCE DUE

8,400

0

8,400

住所
ADDRESS

ご署名
SIGNATURE

GA

74

1

246292

政務活動費領収書等貼付用紙

全国政策研究集会 2018 in 沼津

領収証

山本洋輔様

10,000 円

但し 政策研究集会参加費として

2018年8月24日

自治体議員政策情報センター 虹
〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11 かつ
TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

付欄

第10回 全国政策研究集会 2018


富士山のもとで、地方自治体の未来を考える～憲法・国民投票・地方自治～

8/24 金曜日 受付 12:30～

12:50～

上原公子さん(元国立市長、自治体職員政策調査センター長)

地球一美しい富士山を眺望し、日本の風土骨となる3000メートル級の南アルプスの山々と生命の脈ともいえる3000メートル級の深淵・透明湖を抱え持つ雄大な自然の中にある自治体で、地方自治体の未来を考える第10回全国政策研究集会を開催します。



上原公子


13:10～13:50

静岡県から地方自治を考える

静岡県知事 **川勝平太**さん

静岡県では日本のシンボルである富士山について、「空が」「水が」「思いを寄せ、後世に引き継ぐことを期して毎年2月23日の「富士山の日」と定めています。

「道徳教育の推進策」「ふじのくに」づくり、を基本理念とする新しい総合計画と「ふじのくに」づくり宣言、「ふじのくに」等県政方針を掲げ、富士山の世界文化遺産登録を実現した川勝平太知事から地方自治の未来を語っていただきます。




川勝平太

14:00～16:00

日本一わかりやすい憲法のはなし

谷口真由美さん(全国国政選挙権研究会 代表)

安倍「一党」体制のもと2015年秋、憲法は威力を顕著するもので国民を導くものではないという立憲主義を象徴する憲法改正の行状が進行されました。今秋には憲法9条の第一項、二項を承継し自衛隊を第三項に加えようという憲法改正案が国会で発議されるという状況です。「TBSサンデーモーニングコメンテーター」として活躍する谷口真由美さんが「日本一わかりやすい憲法のはなし」を特別講演します。



谷口真由美



16:15～18:15

国民投票と地方自治

鈴木英典さん(元国政選挙権研究会 代表)

河野洋平さん(元国政選挙権研究会 代表)

昨々、様々な立場から憲法改正の是非をめぐる議論が行われています。国民投票法の立法経緯を振り返りつつ、同法の改正等を求める自治体連合の活動(意見提出)を紹介します。また、国民投票法とメディアとの関係については、現在、大々関心が高い内容であり、合わせて、その内容と憲法、自治体連合が今後果たすべき役割について話します。

鈴木英典 河野洋平



16:15～18:15

憲法・地方自治・議員のめざす姿

福島浩彦さん(中央大学大学院教授・元長野市長)

松本浩一さん(静岡市長)

憲法の下で地方自治の本質とは何か？ 各議員が支持者の要求実現を執行部に向けるだけの議員のあり方を問い直したいと思えます。また、「市民派」、革新派、ローカルパーティ、中央交野派の議員の過去と未来を振り返り、自治体議員のめざす姿を考えます。

福島浩彦 松本浩一

16:15～18:15



地域からのエネルギーシフト再生可能エネルギーへ

坂田哲也さん(NPO法人 環境エネルギー政策研究所 所長)

松本浩一さん(静岡市長)

松本浩一さん(静岡市長)

世界の多くの国や企業は再生可能エネルギーと省エネを最も重要産業として拡大しています。パリ協定をきっかけに世界はCO2を削減しゼロにする「脱炭素」社会に大きく舵を切りました。環境は自然環境と高い相関をもつ日本は天然に環境保存を続けています。再生可能エネルギーを軸にした持続可能なエネルギー革命の実現に向けた具体的な地方自治体政策を語ります。

坂田哲也 松本浩一

「草の根」「ボトムアップ」型民主主義は、地方自治・市民自治から生まれ育ち、日本社会を築いていく土台となります。「安倍一強」体制が生み出した独裁政治と村長行政を改革していくその力は、市民運動と共に歩み行政制度の中で悪戦苦闘する自治体議員の現場の中に見出すことができます。

8/25 土曜日 受付 9:00～


9:30～11:30

「個として繋がり合い、支え合っている社会づくり」若者・生活困窮者支援

本宮達さん(元国立大学国際関係学部国際関係学専攻 教授)

松本浩一さん(静岡市長)

「働かなくてはいけない」社会との関わりが不安定な中で生活している人などに寄り添い、支え、さらに地域を作り直し、地域の活性化とつながり、相互扶助の社会をつくりだす生活困窮者支援、子どもの貧困対策について、一光に考えます。



本宮達



9:30～11:30

「自転車×まちづくり」新たな次元の社会政策を考える

小林誠哉さん(NPO法人 自転車活用推進研究会 代表)

佐藤一孝さん(静岡県サイクリストーズ協議会 事務局長)

健康志向の中、環境にやさしく安全な自転車は交通手段として、また地域の自然が持つ価値をライフスタイルに取り入れるる乗り物として注目されています。自転車活用推進法が施行された地方自治体による利用促進策による機能的・総合的な取り組みが必要とされる中、これからの自転車とまちづくり政策を考えます。

小林誠哉 佐藤一孝

9:30～11:30



超巨大プロジェクト「リニア中央新幹線」が日本を破壊する？!

原田隆さん(元山梨・元市長)

山田英一さん(元リニアを考える日本社会議員連盟 代表・平塚市長)

特別出演：コント60代後援会下伊那郡大町村(主催)

約5000キロで東京～名古屋を40分で結ぶというJR東海の「リニア計画」は、3兆円の国費投入、ユネスコパーク登録された南アルプスの自然環境・基土処理、62万人の上水道水処理の排水、工事入札の競争や自治体の公共事業削減など、暮らしに直結する課題を抱えています。工事が始まった段階で下伊那郡大町村「リニアコント」が異議を申し立て、地味な抗議活動を行っています。

原田隆 山田英一

8/23

南海トラフ地震が予想される浜岡原発の現状を視察する

浜岡原発が停止してから7年。中部地方では地震・盛大な豪雨への4000億円の安全対策と1・2号機の廃炉作業に取り組みできました。周辺自治体では地震対策では積極的に半減が反対しています。原発廃止の意義、防衛策や廃炉などを紹介します。(必要時あり)

8/23(土) 12:20(開会) 12:40(開演) 12:50～13:05(閉会) 13:00

2,500円(税込) 20名以内

8/23(土) 18:00(開演) 18:30(閉演)

8/25

地域資源「川の流れ」を活かしたまちづくり

「水の都・三島」の発祥でもある豊洲川。2016年には世界かんがい施設遺産、そして2018年3月には世界自然遺産にも登録された世界的にも注目されるものとなっています。今回のツアーでは、かつては「どぶ川」と呼ばれた川の再生に、長年力を注いできたNPO法人「ランドワーク三島の哲」にご案内をいただき、水辺を歩きながら、水辺の再生と地域資源を活かしたまちづくりの話を伺います。

8/25(日) 2,500円(税込) 20名以内

8/25(日) 18:00(開演) 18:30(閉演)

8/25

「文化財保護と開発 ～市民運動の広がりに～」

「高尾山古墳」は学術的価値といわれる「石室土偶」よりも価値が高いとされる東日本最大級の前方後方墳です。都市計画推進による取り壊しは市民運動を機に、古墳と周辺の両方に目を向かれました。古墳保存の市民運動は、肉とも骨ともな形に拡大してきています。古墳の調査や開発について関心とともに、文化財保護活動をする市民の力から本音を聞きます。

8/25(日) 2,500円(税込) 20名以内

8/25(日) 18:00(開演) 18:30(閉演)

8/25

「自転車×まちづくり」沼津市のサイクリストリズムを体験する

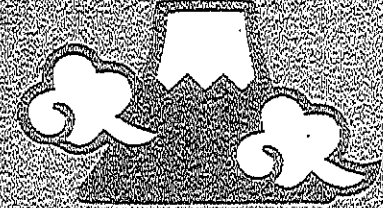
海軍の富士山が誇る自然の雄偉な世界初のサイクリストリゾートにアピールしたい。市長15人によるPTが、平成で2011年3月に開始となった小学校の校舎1階を拠点に、地元「サイクリスト」や企業、団体の協力を得ながら「自転車×まちづくり」の実践を体験します。市長によるフリーウィングとスポーツ自転車の体験ツアー。

8/25(日) 2,000円(税込) 16名

8/25(日) 18:00(開演) 18:30(閉演)

富士山のもとで、 地方自治体の 未来を考える

～憲法・国民投票・地方自治～

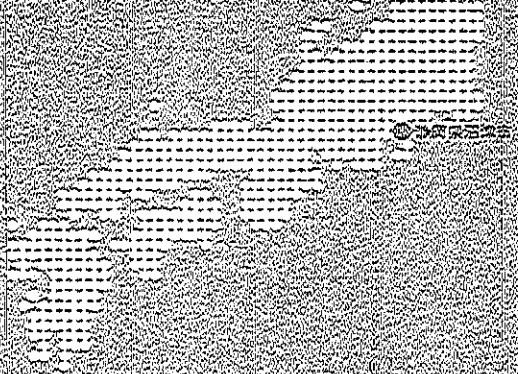


8/24(金) 8/25(土)

沼津市立沼津高等学校

参加費(1日だがも2日通しも)

- 政策情報センター会員費除く 5,000円
- 非会員参加(区市町村・都道府県別) 17,500円
- 参加費 5,000円(協賛費)
- 昼食代(会費・非会費同様) 3,000円
- 一般/研究費 1,000円(前日のみ参加500円)
- 学生/無料(予約申込が必要)
- 地産地消しセブション 4,000円



沼津駅前南口より徒歩 約6分
 1階の北側を通過し
 2階の南側を徒歩約1分

沼津情報ビジネス専門学校
 静岡県沼津市西沢町7-1
 TEL:055-964-2555

参加のお申し込み、お問い合わせは

自治体議員政策情報センター
沼とみどり
<http://www.green-gr.jp/jouhou/index.html>
 〒700-0671 岡山県北區野田5-8-10 沼とみどり3F
 沼津情報ビジネスセンター 11号ビル
 TEL:056-244-7723 Fax:056-244-7724
 jchtaigijin.jouhou@gmail.com

- 特別講演**
- 静岡県から地方自治を考える
 沼津市長 川島平次
- 講演講演**
- 「日本一わかりやすい憲法のぼなし」
 谷口英由 茨城大学の憲法学者が、大衆向けに憲法を解説。公明党の議員も参加。
- 分科会**
- 1 国民投票と地方自治
 地方自治と国民投票の関わり、コミュニケーションの重要性
 沼津市長 川島平次
 - 2 憲法・地方自治・議員のめざす点
 議員活動と中央政治の現状、先見性
 沼津市長 川島平次
 - 3 地域からのエネルギーと再生可能エネルギー
 沼津市長 川島平次、沼津市議員 山田康之
 沼津市長 川島平次、沼津市議員 山田康之
 - 4 個として集まり会い、文を合っている社会づくりを、生活困難者支援
 沼津市長 川島平次、沼津市議員 山田康之
 沼津市長 川島平次、沼津市議員 山田康之
 - 5 自給率をまちづくりの新たな切り口の社会政策を考える
 沼津市長 川島平次、沼津市議員 山田康之
 沼津市長 川島平次、沼津市議員 山田康之
 - 6 超巨大プロジェクト、リニア中央新幹線が日本を縦断する?
 沼津市長 川島平次、沼津市議員 山田康之
 沼津市長 川島平次、沼津市議員 山田康之
- 主催/自治体議員政策情報センター 沼とみどり 協力/自治体議員政策ネットワーク静岡



活動記録簿

会派・議員名 山本洋輔

年 月 日	2019年 3月 26日			
場 所	砂川学習館、旧滑走路前、基地返還地			
相 手 方	砂川平和広場			
参加者氏名	山本洋輔			
目的・内容等 結果	16ミリ映画「流血の記録砂川」を視聴し、その後、その現場に赴き、砂川闘争参加者たちの体験談を聞いた。砂川闘争の時代を全く知らない世代である筆者にとって、現場で闘争していた人たちの生の声を聞くことは、とても新鮮で本市の歴史において非常に大きな出来事であったことが改めて感じられた。また、砂川闘争を通じての当事者の思いが今もなお本市において生きていることを実感すると共に、砂川のまちづくりの在り方についても参考の一端を感じられる有意義な学習会であった。			
活動に要した経費	科 目 (該当科目に○を付けてください)	調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間
				金 額
				円
				円
				円
				円
	参加費 (会費・負担金等)	内訳：資料代		500円
そ の 他	内訳：		円	
	内訳：		円	
	内訳：		円	
合 計			500円	

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。
 ※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

NO. 86

領 収 書

2019年3月31日

〇〇様

500円

資料代として

砂川平和ひろは

領収書等貼付欄